

10月の授業記録をお送りいたします。

暮秋の候——ご父母各位におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

年々いわゆる「秋らしさ」が影を潜め、季節の移ろいのごく極端に感じられるようになっております。ふと気づけば足早に訪れつつある、冬——それは受験生にとっていよいよ追い込みの時期が近づいてきているということでもあります。「春の訪れ」を願って、己が闘いへと挑んでゆく受験生のみなさんを見るにつけ、今年度入試も全ての生徒がこの受験という大きな関門を無事に突破できるように最大限の力添えをしてさしあげようと個別指導会スタッフ一同、意を決しております今日この頃でございます。



さて、市内のほとんどの中学校では、11月中旬以降順次「2学期・期末試験」が実施されます。学習計画をしっかりと立て、目の前にある課題をひとつひとつ丁寧にこなしながら本番に臨めるよう指導いたしますとともに、**無料土曜補講・定期試験対策**などを**通じて、できる限りのサポートをさせていただきます。ぜひとも積極的にお子様を来室させていただくようお声がけをお願いいたします。**

先月後半から今月中旬にかけて高校受験生のご父母を対象にした「個別面談」を実施させていただきました。各位多数のご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。なお、**受験生以外の学年のご家庭につきましては、来年の2月に「個別面談」を予定しておりますが、ご希望であれば随時実施いたします**ので、教室までお気軽にご連絡ください。

■塾からのご案内■

冬期講習のスケジュールが確定しました

12月22日（土）～30日（日）・1月4日（金）～7日（月）の正味11日間

※12月23日（日）・12月31日（月）～1月3日（木）・1月6日（日）はお休みです

2018年度の「冬期講習の日程」は上記の通りです。なお、**夏期講習とは異なり「通常授業」も「冬期講習」と並行して行われますので、ご注意ください。**とりわけ受験生にとっては、志望校の可否を左右する大切な講習です。詳しいご案内は、11月下旬から12月初旬ごろに各ご家庭へ送付させていただきますので、そちらをご覧ください（この場ではひとまず日程のご案内のみさせていただきます）。



学習のアドバイス



今回は、ある科目の1単元に的を絞らずに、「勉強の仕方」全般についてお話させていただきます。まずは「勉強の仕方」についての自己診断アンケートを掲載しますので、回答してみてください。

●次の15項目について、YesとNoのどちらかを○で囲みましょう。

- | | |
|-----------------------------|------------|
| ① 先生の説明をしっかりと聞いていますか？ | （ Yes No ） |
| ② 忘れ物をしていませんか？ | （ Yes No ） |
| ③ わからない問題は、先生に質問しようとしていますか？ | （ Yes No ） |

- | | |
|----------------------------------|------------|
| ④ 解き方だけでなく、なぜそうなるかを理解しようとしていますか？ | （ Yes No ） |
| ⑤ 自分の意見を発言しようとしていますか？ | （ Yes No ） |
| ⑥ 毎日決めた時間に机に向かっていますか？ | （ Yes No ） |
| ⑦ ながら勉強をしていませんか？ | （ Yes No ） |
| ⑧ 机のまわりに勉強と関係ないものを置いていませんか？ | （ Yes No ） |
| ⑨ その日のうちに教科書やノートを開いて復習していますか？ | （ Yes No ） |
| ⑩ 宿題はちゃんとやっていますか？ | （ Yes No ） |
| ⑪ ノートの字は丁寧に書いていますか？ | （ Yes No ） |
| ⑫ 図や表を書くときに、定規やコンパスを使っていますか？ | （ Yes No ） |
| ⑬ 正解した問題と間違えた問題がわかるようになっていますか？ | （ Yes No ） |
| ⑭ 問題集やワークを自分で答え合わせしていますか？ | （ Yes No ） |
| ⑮ 間違えた問題は、後でもう一度やっていますか？ | （ Yes No ） |

いかがでしたか。Yesの数が13項目以上だった人は、正しい「勉強の仕方」が身についています。12項目以下の人は、これまでの「勉強の仕方」を改める必要があります。ただし、一度に全部直そうとしてもなかなか続きません。できるところから少しずつ直していきましょう。3つ直すことができれば、通知表の成績が1ランクアップするはずです。



平成31年度入試の展望 ③

前は私立高校の推薦基準についてお話ししましたが、いかがでしたでしょうか。今回は10月に実施された進学希望調査の結果についてお話しさせていただきます。

進学希望調査は人気投票のようなものですので、倍率の数値はそれほど気にする必要はありません。注目すべき点は、募集人員の増減と前年同期倍率との比較です。今年度については、近隣の学校で募集人員が増加したところはありません。募集人員が減少した学校は川越、川越女子及び狭山清陵ですが、希望者がそれほど大きく変化していないにもかかわらず、倍率は上昇しています。その他に倍率が上昇しているところは、人気校でしたが昨年は不調だった市立川越や所沢西、昨年の人気が回復した所沢中央などです。一方、朝霞西や入間向陽、川越南などは例年と比べて低倍率になっています。

学科別に見ると、普通科の平均倍率は前年並みでしたが、商業系はやや下降気味で工業系は若干上昇しています。ただし、職業系の学科は募集人員が少なく倍率変動が大きいので、注意が必要です。

詳細については、埼玉県教育委員会のホームページでご確認ください。



教室長日記

「辞書」を使って学習しよう



皆さんは、普段の学習の中で「辞書」を使っていますか？

例えば、わからないことばが出てきた時、どのように調べていますか？

年々驚くほど便利な世の中になってきており、今ではインターネットでチャチャッと検索すれば、たちどころにことばの意味をいとも容易く調べることができます。いわゆる「ググる」、というものです。

ただ、「ググる」だけでは正直なところ、学習面においてはあまり意味がありません。なぜかという、それではあくまでピンポイント、つまりことばの表面的な意味しかわからないことが多いからです。

そこで、ぜひ皆さんに意識してもらいたいのは、「辞書」を使って学習することです。国語の辞書にしても英語の辞書にしても、小・中学生用に作られた「辞書」であれば、必ず学習的な内容が含まれています。例えば、国語の辞書なら意味のみならずその言葉の使い方が例文として出ていたり、類義語や反意語などが出ているものも多くあります。英語の辞書（英和辞典）なら、大切な訳が太字やカラーで示されていたり、頻出するものには例文が添えられています。さらによく使われる熟語や類義語・反意語などが書かれているものも多くあります。

このように、それらは「学習をするための辞書」なので、ただ単にことばの意味を確認するためだけに引くのではなく、その項目を熟読するようにすることによって、効果的な学習が行えるようになります。

「辞書」は「使うもの」というより「読むもの」。ですから「辞書」を使って学習をするためには、拙速にならずにじっくりと余裕を持って「辞書」に向き合っていく必要があります。「辞書」を丹念に読みながら新しい言葉や知識を着実に吸収していくことによって、表面的ではない本質的な学力の向上を図ることができます。

ぜひ今日からでも、少しずつ実行に移してみましょう。

（所沢校 中島）